

「ネオニコチノイドが奪う日本人と魚の未来」講演会開催

道内をはじめ全国で川魚などが減少した原因の一つとされる、ネオニコチノイド系農薬に関する講演会「ネオニコチノイドが奪う日

する魚類が減少してきた事例を報告。さらには、呼吸器や中枢神経といった人体への影響があることも科学的データを基に示し、「小児の神経発達に悪影響を与えている可能性もある。国内での使用量を減らすしかない」と訴えた。

公益財団法人日本釣振興会

（日釣振）と週刊釣り新聞ほっかいどうを発行する北海道新聞H o t m e d i a の共催。

講演会の詳細は8月14日発売1406号に掲載予定。

（本紙・梅津 佳）



ネオニコチノイド系農薬の危険性について解説する平久美子さん

公益財団法人日本釣振興会（日釣振）と週刊釣り新聞ほっかいどうを発行する北海道新聞H o t m e d i a の共催。
日釣振北海道地区支部の佐藤正基支部長のあいさつに続き、日釣振本部の牧野良彦常任理事



活動報告をする牧野良彦・日釣振本部常任理事